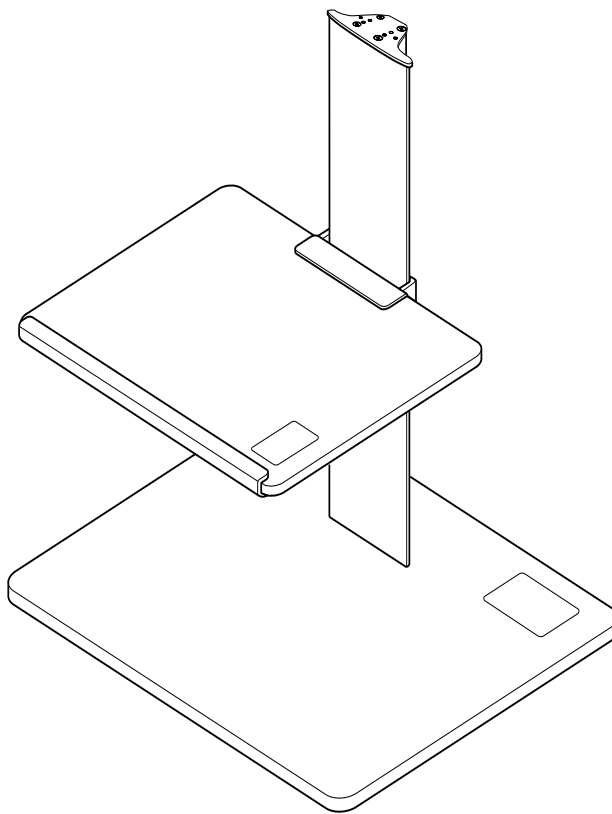


# Panasonic<sup>®</sup>

## 組み立て設置工事説明書

### 壁寄せ専用スタンド

品番 TY-WS3L3T



このたびはパナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■ 組み立て設置工事の前に、この「組み立て設置工事説明書」と2～3ページの「安全上のご注意」、液晶テレビの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しい組み立て設置工事を行ってください。液晶テレビの取扱説明書とともに大切に保管してください。

# 安全上のご注意 (必ずお守りください)

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



## 警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



## 注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



気をつけていただく内容です。



## 警告



■工事専門業者以外は組み立て設置、取り外し工事を行わないでください

工事の不備により、落下や転倒して、けがの原因となります。



■壁面から離れた場所に設置しないでください

倒れて、けがの原因となります。



■ふすま・障子・アコーディオンカーテン等の前での使用は不安定になる為、設置しないでください

倒れて、けがの原因となります。



分解禁止

■壁寄せ専用スタンドを分解したり、改造しないでください

倒れたり、破損して、けがの原因となります。



■壁面を背にして設置してください

倒れてけがの原因となります。



■長い距離を移動させる場合は機器本体を壁寄せ専用スタンドから取り外してください

- ・取り外さないで長距離を移動すると不安定になり、落下・転倒してけがの原因となります。

- ・その他の近距離の移動などについては、8ページの「移動について」をご確認ください。



■掃除や配線処理などで壁面から離す場合は、補助金具を必ず矢印の刻印まで引き出してください

倒れて、けがの原因となります。



## 注意



■湿度の高い場所では使用しないでください

長期間の使用では、そり・変形などが発生し、強度低下を招くことがあります、倒れたり、破損して、けがの原因となることがあります。



■壁寄せ専用スタンドに乗ったり、踏み台代わりに使用しないでください

倒れたり、破損して、けがの原因となることがあります。  
(特に小さいお子様にご注意ください。)



■カタログで指定した機器本体以外には、使用しないでください

落下したり、破損して、けがの原因となることがあります。



■ガラス棚に8 kgを超える機器を載せないでください

倒れたり、落下してけがの原因となります。



■ ガラスを傷つけたり、衝撃を与えないでください

ガラスは強化ガラスです。使い方を誤ると割れるおそれがあり、けがの原因となることがあります。

- 鋭利なものや、尖ったものなどで傷をつけないでください。
- 強化ガラスは、傷が入った状態で長期間ご使用になりますと、傷が進行し自然に破損することがあります。
- 傷が入った場合は、販売店に相談して、新しいガラスと交換してください。



■ 通風孔をふさがないでください

■ 壁寄せ専用スタンド使用時は液晶テレビ本体下面と床面との空間をふさがないでください

内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。



■ 液晶テレビ本体の上下、左右は10 cm 以上、後面は空間を確保してください

火災の原因になることがあります。



■ 直射日光を避け、熱器具から離してください

長期間の使用では、そり・変形などが発生し、強度低下を招くことがあります。倒れたり、破損して、けがの原因となることがあります。



■ 組み立て時、ねじ止めをする箇所は、すべてしっかりと止めてください

不十分な組み立てかたをすると強度が保てず、倒れたり、破損して、けがの原因となることがあります。



■ 水平で安定した所に据えつけてください

倒れたり、破損して、けがの原因となることがあります。



■ テレビは転倒・落下防止の処置をしてください

地震や、お子様がよじ登ったりすると、転倒や落下をして、けがの原因になることがあります。



■ 電源コードを底板にはさまないように設置してください

底板の金属部と接触して、感電の原因となることがあります。



■ 機器本体と壁寄せ専用スタンドの組み立て設置、取り外しは2人以上で行ってください

機器本体が落下してけがの原因となることがあります。



■ 取り付けの際は、専用の構成部品をご使用ください

液晶テレビ本体が落下したり、破損して、けがの原因となることがあります。



指はさみ注意

■ テレビ設置時に、指をはさまないようにご注意ください

けがの原因となることがあります。

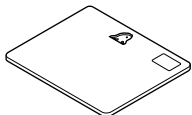


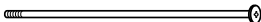




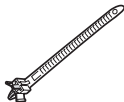


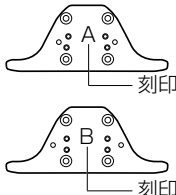

## 取り扱い上のお願ひ

- 1) 直射日光に当てたり、ストーブなどのそばに置くと、光や熱によって変色したり変形したりすることがありますのでご注意ください。
- 2) 壁寄せ専用スタンドのお手入れは、やわらかい乾いた布（綿・ネル地など）でふいてください。ひどく汚れているときは、水でうすめた中性洗剤で汚れを取ってから乾いた布でふいてください。なおベンジンやシンナー、家具用ワックスなどは、塗装がはがれたりしますので、使用しないでください。  
（機器本体のお手入れは機器本体の説明書に従ってください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。）
- 3) 粘着性のテープやシールを貼らないでください。壁寄せ専用スタンドの表面を汚すことがあります。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。（変質の原因となります。）
- 4) 設置時、衝撃などによって機器本体が破損することがありますので、取り扱いにはご注意ください。

■ 取り付け不備、取り扱い不備による事故、損傷については、当社は責任を負いません。

# 構成部品

## 壁寄せ専用スタンド構成部品

<b>Ⓐ 底板</b> (1 個) 	<b>Ⓑ 支柱</b> (1 本) 	<b>Ⓒ ガラス棚</b> (1 枚) 	
<b>Ⓓ 組み立て用ねじ (長)</b> (3 本) 	<b>Ⓔ ガラス棚取り付け用ねじ</b> <b>M5 × 10</b> (6 本) 	<b>Ⓕ コードクランパー</b> (3 個) 	
<b>Ⓖ クランパー</b> (4 個) 	<b>Ⓖ クランパー取り付け用ねじ (4 本)</b> <b>転倒防止金具取り付け用ねじ (1 本)</b> <b>M4 × 10</b> 	<b>Ⓖ クランパー</b> (1 本) 	
<b>Ⓙ 転倒防止金具 (1 個)</b> 	<b>Ⓚ 本体固定用ねじ</b> <b>M4 × 12</b> (4 本) 	<b>Ⓛ 支柱金具 A、B</b> (各 1 個) 	<b>Ⓜ 支柱金具取り付け用皿ねじ (4 本)</b> <b>本体取り付け用金具</b> <b>取り付け用皿ねじ (4 本)</b> <b>M5 × 16</b> 

■ イラストはイメージイラストであり、実際の商品と形状が異なる場合があります。

■ 製品の仕様は予告なく変更する場合があります。

## 組み立て設置工事上の留意点

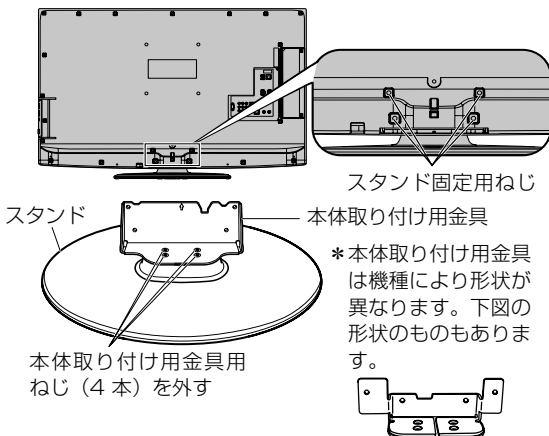
- 液晶テレビ本体の性能保証やトラブル防止のため、次の場所には設置しないでください。
  - スプリンクラーや感知器のそば
  - 高圧線や動力源の近く
  - 暖房機器の風が当たる所
  - 振動や衝撃の加わるおそれのあるところ
  - 磁気、熱、水蒸気、油煙などの発生源の近く
  - エアコンの下などの水滴のかかるおそれのある所
- 機器周囲温度が 40℃ を超えることがないように、空気の流通を確保してください。  
液晶テレビ本体内部に熱がこもり、故障の原因となることがあります。
- 組み立て設置工事中に製品や床に傷が付かないよう、柔らかい毛布や布を使い、作業してください。
- ねじ止めをするときは、締め付け不十分や締め付けすぎがないようにしてください。
- 機器本体の電源プラグは容易に手が届く位置の電源コンセントをご使用ください。
- 組み立て設置工事の際は、周囲の安全確保と十分な注意をしてください。

# 組み立て設置工事手順

## 1. 液晶テレビ本体の準備

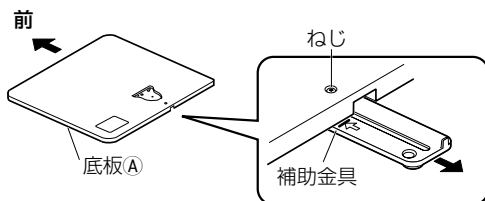
- 汚れや異物がついていないきれいな毛布などをご準備ください。
- ① 液晶テレビ本体のスタンド固定用ねじ（4 本）を取り外してください。（右図参照）取り外したスタンド固定用ねじは保管してください。
- ② 液晶テレビ本体を持ち上げてスタンドから外し、準備した毛布などの上に、液晶テレビ本体にキズをつけないように前面部を下向きにして置いてください。液晶テレビ本体に突起部がある場合はキズや破損に注意してください。
- ③ スタンドの本体取り付け用金具を取り付けているねじ（4 本）を外して、本体取り付け用金具を外してください。取り外した本体取り付け用金具とねじは保管してください。（本体取り付け用金具は壁寄せ専用スタンドの組み立てで使用します。余ったスタンドとねじはスタンドを使用する場合に必要になりますので、大切に保管してください。）

\* 液晶テレビ本体のイラストは機種により異なります。以下は対象機種の一例です。  
（図は TH-L42D2 です）



## 2. 壁寄せ専用スタンドの準備

- 組み立て作業は手袋を着用して行ってください。
- ① 組み立て設置工事は、液晶テレビ本体を設置する場所に近い場所で行ってください。  
壁寄せ専用スタンドは約 21 kg です。
- ② 底板にキズをつけないようにやわらかい布や毛布などを敷いてください。
- ③ 底板Aの後部に取り付けた補助金具のねじを少しゆるめ、矢印の位置まで必ず引き出し、ねじを締めて固定してください。（補助金具は、組み立て・取り外し時の転倒防止用です）

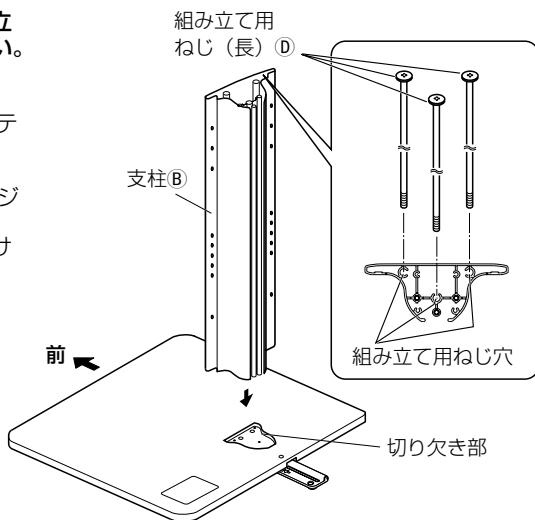
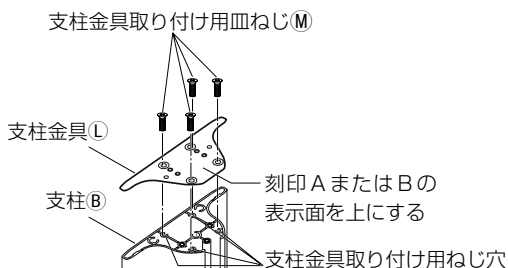


### お願い

- 組み立て設置工事は 2 人以上で行い、指はさみや腰を痛めないようにご注意ください。

## 3. 壁寄せ専用スタンドの組み立て

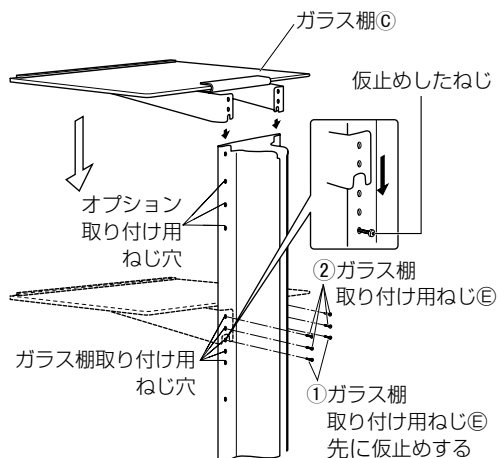
- ① 底板Aの後部の切り欠き部に支柱Bを差し込み、組み立て用ねじ（長）D（3 本）で支柱を取り付けてください。（締め付けトルクは 2.5 ～ 3.0 N・m）
- ② 支柱金具の取り付け
- 支柱金具Lは A、B の 2 種類あります。設置する液晶テレビ本体の品番に合わせてご使用ください。  
A：42 V 型用（TH-L42D2）  
B：32 V 型～ 37 V 型用（品番の詳細は 8 ページの外形寸法表をご参照ください。）
- 支柱金具Lを下図のように合わせて、支柱金具取り付け用皿ねじM（4 本）で取り付けてください。（締め付けトルクは 2.5 ～ 3.0 N・m）



# 組み立て設置工事手順 (つづき)

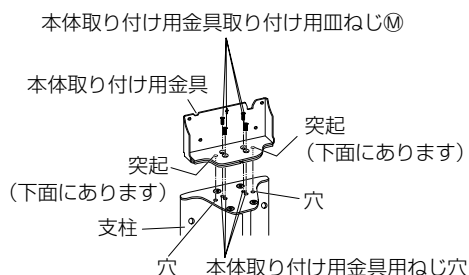
## 4. ガラス棚の取り付け

- ガラス棚の取り付け位置は3段階に調整できます。  
本説明書ではガラス棚を最上段に取り付ける場合を説明しています。ガラス棚は必ずねじ6本で取り付けてください。
- ガラス棚を差し込むときに、支柱表面にキズが付かないようにご注意ください。
- ① 支柱背面にあるガラス棚取り付け用ねじ穴の上から3番目の左右ねじ穴にガラス棚取り付け用ねじ⑥(2本)を仮止めしてください。
- ② ガラス棚⑦の後部にある金具部分を支柱に通し、金具の切り込み(凹)部分を仮止めたねじに掛けてください。
- ③ ガラス棚取り付け用ねじ⑥(4本)と仮止めたねじ2本で固定してください。  
(締め付けトルクは  $1.2 \sim 1.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ )



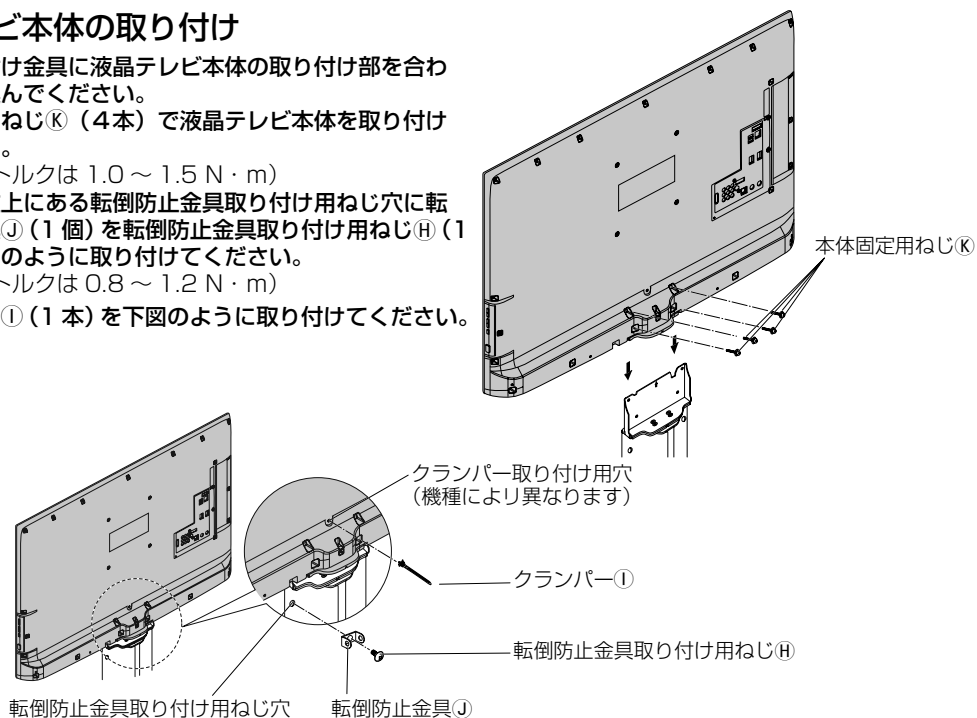
## 5. 本体取り付け金具の取り付け

- ① テレビスタンドから外した本体取り付け用金具下面の突起部を支柱金具の穴に合わせて、本体取り付け用金具取り付け用皿ねじ⑩(4本)で取り付けてください。  
(締め付けトルクは  $2.5 \sim 3.0 \text{ N} \cdot \text{m}$ )



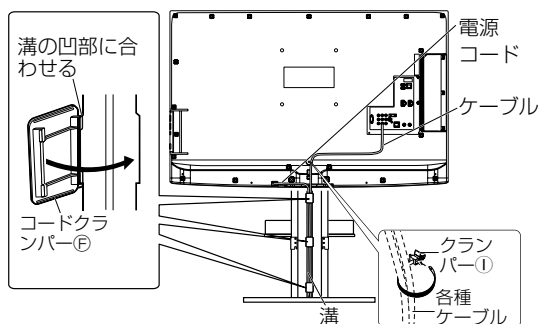
## 6. 液晶テレビ本体の取り付け

- ① 本体取り付け金具に液晶テレビ本体の取り付け部を合わせて差し込んでください。
- ② 本体固定用ねじ⑪(4本)で液晶テレビ本体を取り付けてください。  
(締め付けトルクは  $1.0 \sim 1.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ )
- ③ 支柱背面左上にある転倒防止金具取り付け用ねじ穴に転倒防止金具⑨(1個)を転倒防止金具取り付け用ねじ⑨(1本)で下図のように取り付けてください。  
(締め付けトルクは  $0.8 \sim 1.2 \text{ N} \cdot \text{m}$ )
- ④ クランパー①(1本)を下図のように取り付けてください。



## 7. 接続機器の設置と配線処理

- 液晶テレビ本体の説明書もご参照ください。
  - オプション（ホームシアターオーディオシステム）を取り付ける場合は、配線処理をする前に取り付けてください。
- ① 接続機器を設置し、液晶テレビ本体との配線処理を行ってください。
  - ② テレビ側に接続した各種コード・ケーブルをクランパー①で束ねて支柱の溝に処理してください。
  - ③ コードクランパー②（3個）を支柱の溝の少し広がっている凹部分（3か所）にはめ込んでください。（右図参照）



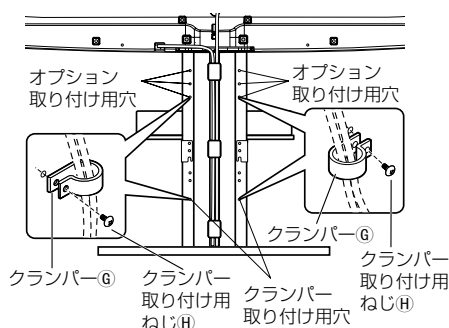
### 接続用のコード・ケーブルが多い場合

オプション取り付け用穴とクランパー取り付け用穴を使用して、クランパー⑥（4個）をクランパー取り付け用ねじ⑨（4本）で取り付けて配線処理してください。

- オプションを取り付けた場合は、予備の穴を使ってクランパー⑥を取り付けてください。  
（締め付けトルクは 0.8 ～ 1.2 N・m）

### お願い

- 電源コードは他のコードと離してください。
- 一部の HDMI ケーブルやパソコン用ケーブルを使用する場合、壁にケーブルが接触し、テレビ本体の HDMI 端子やパソコン入力端子を傷めることがあります。このような場合はケーブルに負担がかからないように処理してください。



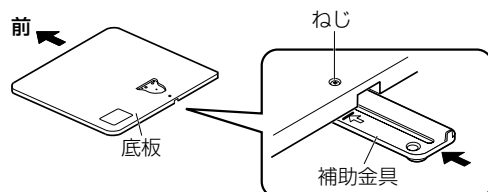
## 8. 転倒・落下防止処置

- ① 底板の補助金具のねじをゆるめ、底板からはみださない位置に戻して固定します。液晶テレビ本体を取り付けた壁寄せ専用スタンドを壁面に沿った設置する場所まで移動させてください。

### お願い

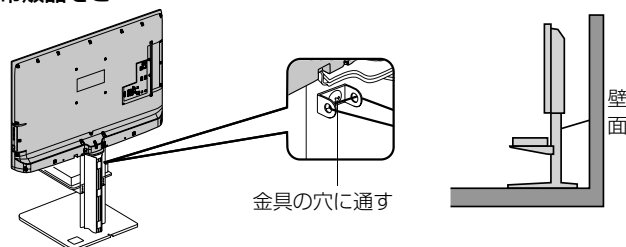
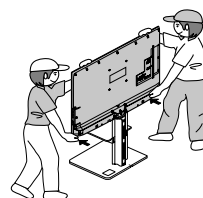
- 液晶テレビ本体を取り付けた壁寄せ専用スタンドは、質量が大きくなります。運搬や移動する場合は、指定した箇所を持って行ってください。強い衝撃を与えないように 2 人以上で行い、床面等に傷が付かないよう、ご注意ください。

- ② 手順 6-③ で取り付けた転倒防止部品の金具に丈夫なひもやワイヤーを通して壁側に固定してください。  
（転倒防止処置に必要なひもやワイヤーなどは市販品をご利用ください。）



### 持ち方

液晶テレビ本体の下側左右 corner 部を持ってください。



## 「安全のため、必ず転倒・落下防止処置をしてください」

地震の場合などに倒れるおそれがあります。必ず、転倒・落下防止処置をしてください。

※ 本欄の内容は、地震などでの転倒によるけがなどの危害を軽減するためのものであり、全ての地震などに対してその効果を保証するものではありません。

# 液晶テレビ本体の移動と取り外し

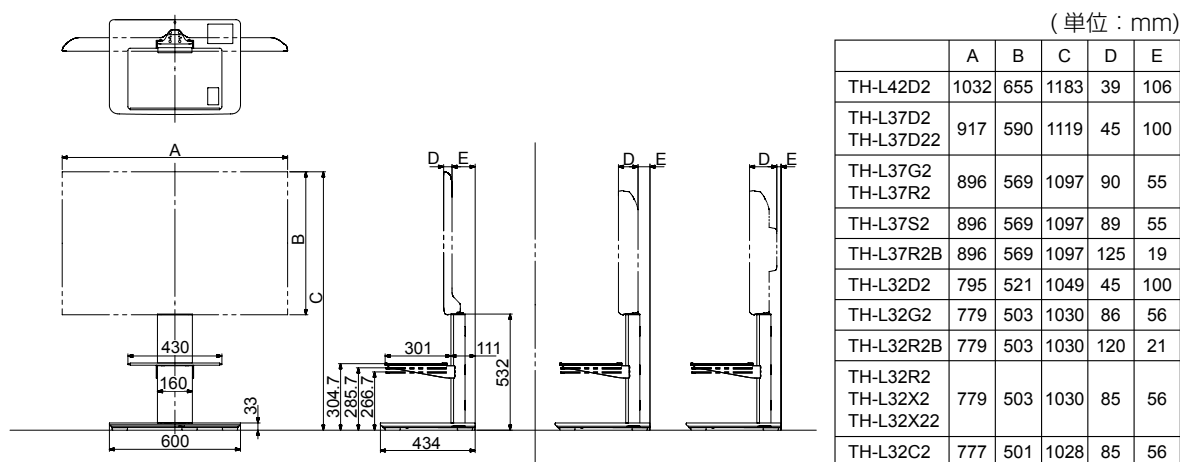
## 移動について

- 接続機器の増設や掃除など、室内を移動させる場合は、手順 8-①（お願い）に従い行ってください。
- 引越しや長い距離を移動させる場合は、液晶テレビ本体を取り外してください。取り外しは工事専門業者に依頼してください。

## 取り外しについて

- ① 転倒・落下防止処置（ひもやワイヤーなど）を外して壁寄せ専用スタンドを引き出してください。
- ② 底板の後部についている補助金具のねじをゆるめ、矢印の刻印まで引き出し、ねじを締めて固定してください。
- ③ 接続機器との配線を外してください。
- ④ 液晶テレビ本体背面の下中央のテレビ本体固定用ねじ（4 本）を外してください。
- ⑤ 液晶テレビ本体を持ち上げて取り外してください。

## 外形寸法図




## ●使いかた・お手入れ などのご相談は……………

パナソニック お客様ご相談センター 365日 受付9時～20時

電話 フリーダイヤル  **0120-878-365**  
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

■上記番号がご利用いただけない場合 **06-6907-1187**

■FAX フリーダイヤル  **0120-878-236**

**Help desk for foreign residents in Japan**

**Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787**

Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

### 【ご相談におけるお客様に関する情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびパナソニックグループ関係会社（以下「当社」）は、お客様の個人情報をパナソニック製品に関するご相談対応や修理サービスなどに利用させていただきます。併せて、お問合せ内容を正確に把握するため、ご相談内容を録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いたしておりますので、ご了承ください。当社は、お客様の個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に個人情報を開示・提供いたしません。個人情報に関するお問合せは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック株式会社  
AVC ネットワークス社 映像・ディスプレイデバイス事業グループ  
〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号

© Panasonic Corporation 2010

M0410-1080